

第23期
中間期
株主通信

2007年4月 1 日から
2007年9月30日まで



株主のみなさまへ

ごあいさつ



株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第23期中間期（2007年4月1日から2007年9月30日まで）の事業および業績についてご報告申し上げます。

当社は、『デジタルマーケティングサービス』、『コールセンターサービス』、『ビジネスプロセスアウトソーシングサービス』、『ビジネスプロセスソリューションサービス』、『エンジニアリングソリューションサービス』、『中国オフショア開発サービス』等を単独もしくはグループ企業と有機的に結びつけることにより、お客様企業のマーケティング活動の最適化および効率化、売上の拡大、新規顧客の獲得、並びに顧客満足度向上の実現などに取り組んでおります。また、これらのサービスは国内のみならず、中国・韓国を中心としたアジア地域や北米など6ヶ国15拠点でも国内と同等の品質と技術を提供しております。その他、ビデオ投稿や最速ブログ検索の「Ask.jp」をはじめとしたBtoCメディアサービス事業、常に国内外の最新テクノロジーをサービスメニューに取り込みサービス競争力向上をはかることを主目的とした事業開発投資（コーポレートベンチャーキャピタル事業）を展開しております。

当中間期の連結売上高は78,656百万円と、前年同期比21.5%の増収となり、計画を上回ることができました。しかしながら連結経常利益は、単体情報サービス事業は計画通り順調に推移いたしましたが、コーポレートベンチャーキャピタル事業における株式減損処理額の増加などにより、1,021百万円と、前年同期比60.6%の減益となりました。また、会計基準の改正に伴う繰延税金資産の取崩しを行い、法人税等調整額が約22億円増加した結果、中間純損失は2,831百万円となりました。株主の皆様には多大なご心配をおかけしますが、この結果を踏まえ、全社一丸となって業績回復に取り組んでまいり所存でございます。

2008年3月期の配当金につきましては、当社の財務状況及び業績見通しを総合的に勘案し、株主の皆様の期待に応えたいと考えており、期初の計画どおり中間配当は実施いたしません。当期末1株40円（年間40円）とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2007年12月

トランスコスモス株式会社

代表取締役社長兼 COO 奥田昌孝

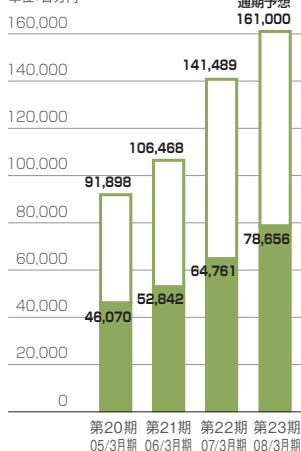
- 連結売上高は、主力のデジタルマーケティングサービス、コールセンターサービスを中心に情報サービス事業が引き続き好調に推移し、前年同期比21.5%の増収となりました。
- 連結経常利益は、単体での情報サービス事業が好調に推移したものの、子会社は新規の子会社増加や業績が期初の計画を下回ったことや、コーポレートベンチャーキャピタル事業での株式減損処理に伴う売上原価の増加などにより、前年同期比60.6%の減益となりました。
- 連結中間純利益は、投資有価証券評価損の発生および一部の関係会社に係るのれん一括償却など固定資産の減損処理等により、特別損失約12億円、会計基準の改正に伴い過年度に計上した繰延税金資産の取り崩しに伴う税金費用を法人税等調整額として約22億円等を計上したことにより、約28.3億円の損失となりました。

売上高	78,656 百万円	(前年同期比 21.5% 増)
経常利益	1,021 百万円	(前年同期比 60.6% 減)
中間純損失	2,831 百万円	

□ 通期 ■ 中間期

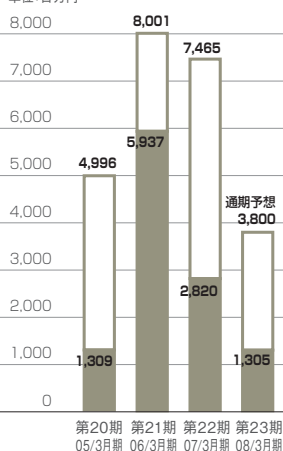
売上高

単位:百万円



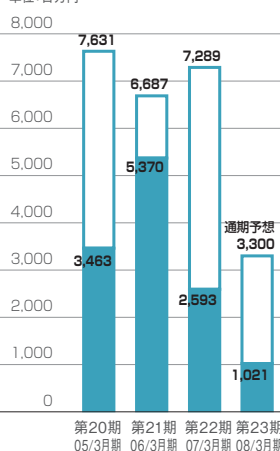
営業利益

単位:百万円



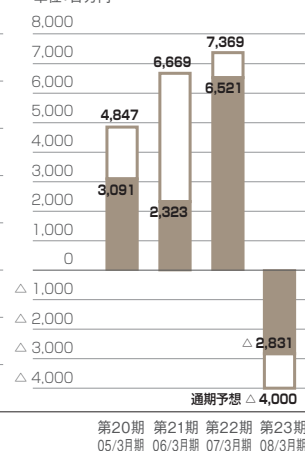
経常利益

単位:百万円



当期純利益

単位:百万円



連結財務諸表



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末 (2007年9月30日現在)	前連結会計年度 (2007年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	55,844,919	61,791,133
固定資産	37,691,667	34,589,688
有形固定資産	12,603,553	11,351,292
無形固定資産	6,591,106	5,655,537
投資その他の資産	18,497,006	17,582,858
資産合計	93,536,586	96,380,821
■負債の部		
流動負債	32,347,882	24,260,534
固定負債	7,593,333	13,049,940
負債合計	39,941,216	37,310,475
■純資産の部		
株主資本	40,145,113	44,907,778
資本金	29,065,968	29,065,968
資本剰余金	23,061,348	23,080,728
利益剰余金	4,014,739	8,576,441
自己株式	△ 15,996,942	△ 15,815,359
評価・換算差額等	7,011,247	7,638,567
少数株主持分	6,439,009	6,523,999
純資産合計	53,595,370	59,070,346
負債・純資産合計	93,536,586	96,380,821

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	前連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
売上高	78,656,780	64,761,850	141,489,600
売上原価	62,571,658	49,291,335	107,410,359
売上総利益	16,085,121	15,470,515	34,079,240
販売費及び 一般管理費	14,779,294	12,650,479	26,613,695
営業利益	1,305,827	2,820,036	7,465,544
営業外収益	187,829	232,055	837,481
営業外費用	471,897	459,043	1,013,530
経常利益	1,021,759	2,593,048	7,289,496
特別利益	501,272	11,425,910	12,548,621
特別損失	1,155,716	2,612,461	6,227,419
税金等調整前 中間(当期)純利益	367,315	11,406,497	13,610,698
法人税、住民 税及び事業税	1,331,956	3,842,505	4,117,205
法人税等調整額	2,342,053	1,056,947	2,156,707
少数株主損失	475,656	14,185	32,566
中間(当期)純利益 又は中間純損失	△ 2,831,037	6,521,229	7,369,350

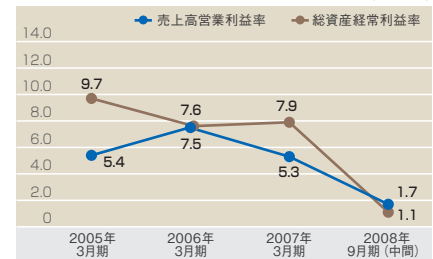
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	前中間連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	前連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,426,118	295,095	5,140,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,177,468	3,528,661	△ 3,524,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,202,384	1,225,911	△ 1,999,290
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	13,766,416	26,234,436	21,782,606

売上高営業利益率・総資産経常利益率

(単位：%)



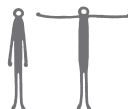
中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位：千円)

項 目	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等			少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
2007年3月31日残高	29,065,968	23,080,728	8,576,441	△ 15,815,359	44,907,778	2,303,292	5,335,275	7,638,567	6,523,999	59,070,346
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,705,462		△ 1,705,462				-	△ 1,705,462
中間純損失			△ 2,831,037		△ 2,831,037				-	△ 2,831,037
自己株式の取得				△ 222,679	△ 222,679				-	△ 222,679
自己株式の処分		△ 19,380		41,095	21,715				-	21,715
持分法適用会社減少に伴う減少			△ 9,021		△ 9,021				-	△ 9,021
従業員奨励及び福利基金			△ 16,180		△ 16,180				-	△ 16,180
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)					-	△ 1,348,361	721,040	△ 627,320	△ 84,990	△ 712,310
中間連結会計期間中の 変動額合計	-	△ 19,380	△ 4,561,701	△ 181,583	△ 4,762,665	△ 1,348,361	721,040	△ 627,320	△ 84,990	△ 5,474,975
2007年9月30日残高	29,065,968	23,061,348	4,014,739	△ 15,996,942	40,145,113	954,931	6,056,315	7,011,247	6,439,009	53,595,370

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



規制緩和、個人情報保護法やCSRの登場。

そして、グローバルな競争…。

ベストなITサービスが、経営クオリティを決める時代が到来しています。

世界市場から最高の技術と

最もコストパフォーマンスの高い人材を、

日本ならではの、きめ細かくカスタマイズされた

ITサービスに統合する。これが

トランスコスモスの提供するバリューです。



MCM センター那覇



中国本溪データエントリーセンター開所式の模様

米国の最先端サービスの輸入、国内の最先端テクノロジーベンチャーとの共同開発によるイノベーション創出に加えて、各分野における有カメディア企業、コンテンツホルダーとの戦略的提携による合併事業を強化し、トランスコスモスグループにおける消費者向けサービスの強化に取り組んでおります。

お客様企業に最適なサービスを常にご提供していくため、またサービスの付加価値を高めるための研究開発活動を展開しております。

中国・韓国を中心としたアジア地域や北米など6ヶ国15拠点で、国内で展開しているデジタルマーケティングサービス、コールセンターサービスなど、多彩なサービスを同等の品質と技術でご提供しております。

中国の天津に拠点をもち、お客様企業が求めるシステムを企画段階から、上流設計・開発・保守まで、高品質、低価格でご提供しております。

情報サービス (B to C)

B to C 事業

CVC

事業開発投資

海外事業サービス

セグメント別売上高

単位：百万円

80,000

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

320

4,851

47,670

2005年
9月期

中国
オフショア開発
サービス

**デジタル
マーケティング
サービス**

最新インターネット技術を活用した企業のWebサイト制作、オンラインプロモーション、リスティングなど、インターネットサービス全般をご提供しております。

**コールセンター
サービス**

消費者からの情報を最大限に活用・運用する“マルチチャネル対応型(電話/Eメール/Web)”のコールセンターサービスをご提供しております。

**情報サービス
(B to B)**

**ビジネスプロセス
アウトソーシング
サービス**

お客様企業のコア業務を支えるシステムの導入・運用支援をはじめ、サポートデスク、社員教育、IT資産管理などのサービスを「統合サポートデスクサービス」としてご提供しております。

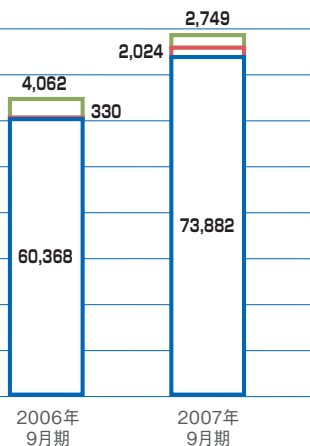
**ビジネスプロセス
ソリューション
サービス**

国内最大規模のイメージエントリーネットワーク体制(国内10ヶ所、中国2ヶ所)を有し、ビジネスプロセスの診断・設計・構築・実行までをトータルにご提供しております。

**エンジニアリング
ソリューション
サービス**

CAD/CAMなどで蓄積してきたノウハウをベースに、お客様企業のモノ作りを強力かつ総合的にバックアップするエンジニアリングサービスをご提供しております。

□ CVC □ B to C □ B to B



コールセンターの業務風景

トピックス



セカンドライフ参入支援サービスを開始

セカンドライフは、米Linden Lab (R) 社が運営する3次元仮想世界サービスです。2007年10月時点で1,000万人を超えるユーザーが登録しており、今後もさらに爆発的な成長が見込まれるメディアです。当社は、このセカンドライフへの参入支援はもちろん、テクニカルサポート、セカンドライフ内でのイベント運営、アバターの派遣など、幅広くサービスを提供しております。また、セカンドライフに続き、今後も増えると予想されるメタバースを視野に入れた事業を展開していきます。



シンガポールに拠点となるMCM Asia Pacificを設立 ASEAN・周辺国に事業を展開

ASEANを中心とする各国（タイ、シンガポール、インド、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ベトナム、オーストラリア等）のインターネット市場は、ここ数年の間、急速な増加傾向にあり、ユーザー数も今後ますます増えることが予想されます。また、コールセンター事業においても、英語力を活かし、欧米からのアウトソーシングを請け負う企業が多数存在しています。当社は、シンガポールにtranscosmos MCM Asia Pacific Pte. Ltd.を設立し、本格的にASEANおよびその周辺国への事業展開を開始します。

沖縄IDC／沖縄MSPセンターを開設

災害対策ソリューションを充実させたインターネットデータセンター (IDC)／マネージドサービスプロバイダ (MSP) 事業を開始

日本版SOX法や内部統制で注目される事業継続に対するソリューションサービス (マネージドIDCサービス) を開始しております。マネージドIDCサービスは、災害が発生してもビジネスを止めないためのシステム継続稼働に向け、首都圏から同時被災比率の低い沖縄にセンターを構え、24時間365日安定的にシステムの監視/運用を行います。また、万全なファシリティを有するファーストライディングテクノロジー株式会社とパートナー契約を締結し、3つの特徴「Safety (安心)」「Security (安全)」「Reliability (信頼性)」をもったサービスを提供していきます。



東京都多摩市にコールセンター (MCM センター多摩) を新設

首都圏における中枢拠点の1つとして、フロア面積約1,000坪、シート数約880シート、正社員を含むコミュニケーター数は最大稼働時で約1,800名の大規模なコールセンター (MCMセンター多摩) を新設し、2007年10月より営業を開始します。このセンターでは、お客様企業に代わって顧客の問い合わせ対応を実施するインバウンド業務、徹底した顧客分析をベースとした販促や未入金案内などのアウトバウンド業務など、合計月間約430万ものコールを受発信する予定です。また、証券外務員資格などを必要とする金融業界や教育/情報通信業界向けのカスタマーサポートなど高いスキルを要する業務を中心に展開していきます。

コーポレートデータ



会社概要

会社名 ■トランスコスモス株式会社
(商号) ■トランス・コスモス株式会社 (transcosmos inc.)
所在地 ■東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530
電話番号 ■03-4363-1111 (大代表)
FAX番号 ■03-4363-0111
設立年月日 ■1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金 ■29,065,968,631円 (※2007年9月末現在)
従業員数 ■単体: 8,296名 グループ: 11,455名 (※2007年9月末現在)
主要取引銀行 ■三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行

株式状況 (2007年9月30日現在)

発行可能株式総数 ■150,000,000株
発行済株式の総数 ■48,794,046株
株主数 ■21,929名

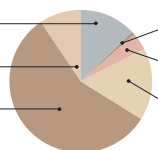
大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
奥田 耕己	7,478	17.58
奥田 昌孝	5,910	13.89
平井 美穂子	2,185	5.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,976	4.64
財団法人奥田育英会	1,753	4.12
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ビービー アイリッシュ レジデント619	1,006	2.36
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505012	877	2.06
クレジット スイス ファースト ボストン ヨーロッパ ビービー セク アイエヌティ ノントリーティ クライアント	691	1.63
ノーザン トラストカンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノントリーティ	617	1.45
ノーザン トラストカンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	500	1.18

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。
 3. 出資比率は、自己株式 (6,240千株) を控除して算出しております。

株式・株主分布

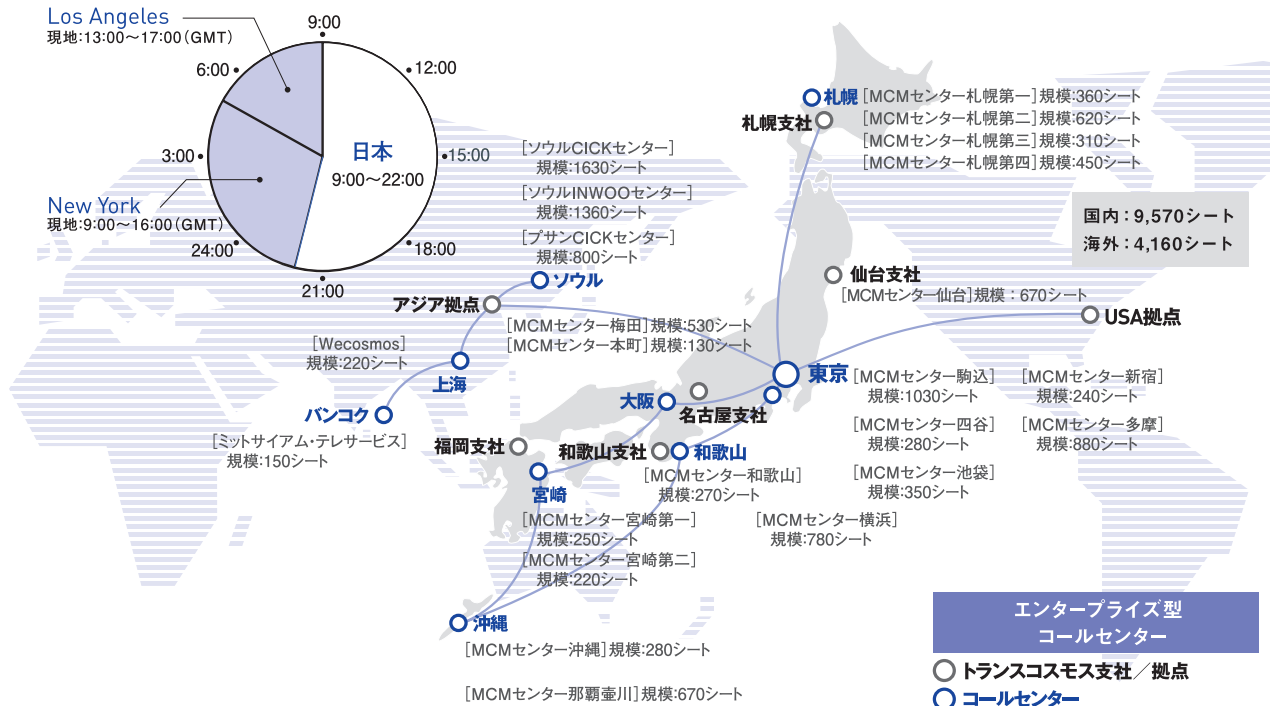
自己株式 12.79% 6,240千株	証券会社 0.83% 403千株
金融機関 9.23% 4,501千株	その他の法人 4.14% 2,018千株
個人その他 56.66% 27,648千株	外国法人等 16.36% 7,981千株



役員構成 (2007年9月30日現在)

代表取締役グループCEO ファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
取締役副会長	後藤 攻
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一
	高嶋 正二郎
専務取締役	森山 雅勝
	永倉 辰一
社外取締役	吉岡 大樹
	高尾 吉郎
	神山 陽子
常勤監査役	石井 三雄
監査役	日色 輝幸
	渡邊 和志
	中村 敏明
上席常務執行役員	牟田 正明
	貝塚 洋
	藤元 伸彦
	多田 真之
	河野 洋一
常務執行役員	下總 邦雄
	高野 勉
	川瀬 常隆
	宮領 祐行
	山喜 和彦
	早見 泰弘
	岡本 浩司
	井上 博文
	清水 一洋
	沖野 公秀
	梅村 和広
	三宅 明
執行役員	内村 弘幸
	吉田 啓介
	松原 健志
	小島 豊
	植松 芳宏
	日高 俊児
	久保 雄一郎
	荻野 正人
	荒木 正敏
	古原 広行

グローバルネットワーク



2007年11月現在

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公示して定めた日。

単元株式数 100株
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先
及び連絡先)
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話(住所変更等用紙のご請求)
☎0120-175-417
(その他のご照会)
☎0120-176-417

インターネット
ホームページURL <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 の 方 法 電子公告の方法により行います。
ただし、やむをえない事由により電子公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告 URL (<http://www.trans-cosmos.co.jp>)

なお、単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、上記の住友信託銀行株式会社本支店又はお取引の証券会社本支店においてお取り扱いしております。

ホームページのご案内

詳しい財務情報や最新のIRリリース、決算説明会資料などを紹介するIRライブラリーなど当社のIR情報をご覧いただけます。

<http://www.trans-cosmos.co.jp>

